

行動災害（転倒災害・腰痛など）予防のための

青い森 “+Safe” 協議会（第5回）を開催しました

青森労働局では、第三次産業を中心に増加している転倒災害や腰痛などの労働者の作業行動を起因とする労働災害（行動災害）を予防するため、令和4年10月に管内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体を構成員とする「青い森介護施設“+Safe”協議会」及び「青い森小売店舗“+Safe”協議会」を設置しています。

今般、第5回目の協議会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

青い森介護施設“+Safe”協議会（開催日：令和6年7月16日）

青い森小売店舗“+Safe”協議会（開催日：令和6年7月17日）

○「青い森（介護施設・小売店舗）“+Safe”協議会」における取組結果について

これまでの取組を振り返り、さらなる行動災害の予防に向けて意見交換を行いました。

- ① 協議会を4回開催
- ② 行動災害予防のための啓発資料の作成・活用（カード・シール・ポスター・リーフレット）
- ③ 専門家による講演会の開催
- ④ 構成員相互の現場視察の実施

○「青い森（介護施設・小売店舗）“+Safe”協議会」における今後の取組方針及び各構成員の取組事例発表と情報交換について

構成員からの発表や意見等の一部を次のとおり紹介します。

- ・ 行動災害の減少を図るためには、横への展開が大きな課題であると思う。
- ・ 行動災害の減少を図るためには、社会として盛り上がる取組があればいいと思う。
- ・ 協議会の取組を事業場や業界に広めることが大切だと思う。
- ・ ノーリフティングケアを含めた教育を実施している。
- ・ 毎年2回、全職員を対象として腰痛健康調査及びリスク調査を実施している。
- ・ 転倒災害防止対策については、職員会議のテーマに入れている。
- ・ 転倒等リスク評価セルフチェックの対象年齢を60歳以上から55歳以上に拡大した。
- ・ ノーリフティングケアにより腰痛は減少している。
- ・ 腰痛について、年2回アンケートを実施している。
- ・ 規模が小さい事業場は集まる機会（安全衛生委員会等）が少ない。
- ・ 労働者数が少ないところでも実施できる取組があればいいと思う。

青い森介護施設“+Safe”協議会構成員	青い森小売店舗“+Safe”協議会構成員
社会福祉法人奥入瀬会	株式会社サンデー
医療法人サンメディコ	株式会社マエダ
社会福祉法人スプリング特別養護老人ホーム福寿草	株式会社ユニバース
社会福祉法人平元会	青森県子ども家庭部若者定着還流促進課
社会福祉法人緑風会	青森県商工会議所連合会
青森県健康医療福祉部高齢福祉保険課	
公益社団法人青森県老人福祉協会	

第5回青い森介護施設“+Safe”協議会



(協議会)
意見交換等を行っている様子

第5回青い森小売店舗“+Safe”協議会



(協議会)
意見交換等を行っている様子